

ありがとう 忘れられない 我が母校馬淵小

馬淵小学校 129年の歴史に幕



開会1時間以上も前から閉校式に駆けつける同窓生ら

馬淵小のあゆみ

▶明治12年 五日市小学校分教場として創設 ▶大正11年 校舎新築 ▶昭和12年 本校昇格 ▶昭和23年 小中併設校 ▶昭和33年 現校舎新築 ▶昭和51年 馬淵中学校が江刈中学校に統合

三月、馬淵小学校（小野寺和子校長）は、百二十九年の歴史に幕を下ろしました。昭和三十八年には全校児童百二十九人を数えたものの、時代の変化による急激な少子化の進行で、十三人まで減少。適正な学習環境の中で、多くの仲間や集団の中で切磋琢磨できるようにと統合を決めました。四人が卒業し、在校生九人は四月から五日市小学校（星貴子校長）に仲間入りしました。閉校式は三月二十日、同窓生や地域の人々、関係者ら約三百人が出席して同校体育館で行われました。小野寺校長は「地域一体でつくりあげた馬淵小学校での思い出は、心の中にいつまでも輝き続け、心のふるさとなるでしょう」と、最後のあいさつ。教育委員会に校旗を返納し、それぞれの思いを胸に最後の校歌を歌い、惜しまれながらもその歴史を閉じました。

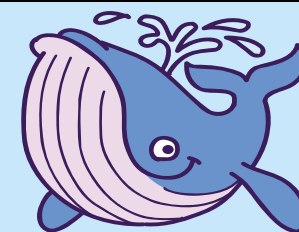
思い出に刻み

閉校式・思い出を語る会



①「馬淵小学校は、これからもずっと私たちの心の中に生き続けます」と、呼び掛ける13人の全校児童 ②思い出を胸に全員で最後の校歌斉唱 ③児童会長から校長へ、そして教育委員長に校旗を返納 ④報道陣の取材を受ける県外から駆けつけた同窓生。「寂しいですね」と一言 ⑤自分たちの手形の入った記念碑に手を合わせる児童 ⑥閉校記念碑の前で記念事業を紹介する橘隆実行委員会会長。「閉校は断腸の思い」ながら、今後も校舎を通じて地域の連帯感を一層強めようと呼び掛けた ⑦校舎前に建立された記念碑の除幕式 ⑧モウモウ館で行われた「思い出を語る会」。アトラクションで、地域の人や児童によって復興を果たした加茂鹿嶋神社に伝わる神楽を披露した全校児童 ⑨旧職員や卒業生も県内外から集い、久しぶりの再会を喜ぶ同窓会のような雰囲気も。

最後の在校生



馬淵小学校の宝物

★思い出のたくさん詰まった、ぬくもりのある校舎
★くじらぐもが泳いでいる屋根とピンクのかべ
★ピカピカにみがかれた長いろう下。私たちは馬淵小学校でいっぱい学びました。

松浦菜々美さん・3年 業間マラソンで2キロを走って、体力づくりをしました	上野智紹さん・3年 学習発表会で、友達と心を合わせて演技しました	松浦里菜さん・1年 毎日、音読練習をして、みんなの前で発表できました		
皆川侑さん・5年 漢字をしっかりと練習したら読書が楽しくなりました	大道美紅さん・4年 一輪車クラブでたくさん技を覚え、上手にできました	清水野健吾さん・4年 縄跳びで、連続30回跳べるようになりました	三澤遠さん・4年 町の駅伝継走大会で8分台で走る事ができました	澤口翔太さん・4年 町のスキー大会で1位になりました
清水野友美さん・6年 児童会長としてNHKの生放送でいっぱい答えました	中原知花さん・6年 陸上記録会の走り幅跳びで、2位に入賞しました	清水野綾子さん・6年 図書委員長として責任をもって図書まつりをしました	橘貴弘さん・6年 ユニホックのキャプテンとして全力を出しました	橘佳穂さん・5年 調理実習やキャンプでおいしい料理をつくりました